

ごあいさつ

皆様、いつも大変お世話になり、本当に有り難うございます。私は、初当選をさせていただき8ヶ月になります。皆様より頂いた誠意と真心に全力でお応えしたい、何としても皆様のお役に立たせていただきたい、その思いで全力投球の毎日です。昨年12月に初めて都議会本会議で、党を代表して一般質問に立たせていただきました。

障害者の雇用と就労、AED配備や耐震の問題、そして新宿の明治通りの整備などについて都の姿勢をただし、大きな成果を得ることができました。今後とも、首都東京そして新宿の発展のために、誠心誠意、全力で取り組んで参ります。皆様のさらなるご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。
都議会議員 吉倉正美



都議会本会議一般質問

地下鉄13号線の促進と合わせ、明治通りの拡幅・電線の地中化を決定!!

私は、一般質問のなかで、平成19年度開通予定の地下鉄13号線の促進に合わせ、地上部の明治通りの、慢性的な道路交通渋滞の緩和、更に道路拡幅整備を要望。なかでも、高齢者・障害者の安全を確保するために、歩道幅の拡幅、バリアフリー化、さらに景観への配慮から、電線類の地中化をぜひ実現すべきであると主張しました。岩永勉建設局長は「歩道を現在の3.3メートルから4.5メートルに拡幅し、電線類の地中化を行う」と述べ、また、「バリアフリー対策として、歩道の段差解消や点字ブロックを適正に配置する」と答弁いたしました。

劇場・スポーツ施設などの吊り天井320棟に「問題」

——早急な是正を指導——

私は、一般質問のなかで、昨年8月に東北地方を襲った地震で、仙台市の屋内プールの吊り天井が落下した事故を受けて、都内のスポーツ施設や劇場など、大規模空間を持つ建築物の崩落に対する安全性は大丈夫かと質問。梶山修都市整備局長は、都内の建築物320棟に問題があり、対策が必要と報告。指摘の点を受けて、「区市と連携し早急な是正を強く指導していく」と答弁しました。



障害者雇用の拡大図れ

障害者団体に都営地下鉄駅構内の売店・コーヒーショップの出店を!

昨年12月8日、東京都議会定例会本会議で、私は公明党を代表して一般質問に立ちました。2016年の東京オリンピック開催に照準を定め、少子高齢社会に対応する「福祉先進都市・東京」を実現し、広く世界に都市再生のモデルを提示すべきであるとの観点から、知事、局長に、障害者の雇用と就労について質問。「障害者が就労のチャンスを得て、積極的な社会参加を実現できるシステムを今こそ東京で構築すべきだ」と主張。障害者の雇用拡大策の一例として、都営地下鉄駅構内での、障害者団体による売店やコーヒーショップなどの出店について、検討を求めました。これに対し、松澤敏夫交通局長は「地下鉄駅構内で障害者の働く場を提供することも、公営交通の役割として大切である」と述べ、障害者団体の出店を検討していくとの考えを示しました。

AED、都立高校に配備が実現!!

——自動体外式除細動器——

私は、一般質問のなかで、医療施設以外で突然心臓停止を起こして倒れる人が、年間2万人から3万人いることを報告。突然死の殆どは、心臓疾患であり、心臓が痙攣すると、1分経過するごとに、約10%ずつ機能が失われ、10分後には殆どの人が死に至ると言われています。そこで、早期に救命率を高めるAEDの使用が必要となりますが、都内の都立高校には現在、1基も設置されておりません。都は一刻も早く、都民の安心・安全・健康を守る立場から、都立高校に設置すべきであると主張。都は、「指摘を受け18年度より配備します」との答弁がありました。

都議会総務委員会で質問

震度5で“閉じこめ”発生、エレベーター事故から住民を守れ!



首都直下型地震による、東京の被害想定では、マグニチュード6.9でエレベーターの閉じこめは約7500台。マグニチュード7.3で約9200台と報告。都市の弱点とも言うべきエレベーターの閉じこめ事故について、私は3月17日の都議会総務委員会で取り上げ、「地震時管制運転装置」が設置されていることが、逆に、閉じこめ事故を引き起こしたことを指摘。今後の安全確保、救出復旧体制の整備について、早期対応を求めました。都は「遠隔監視システムの拡大、通信にインターネットを活用することも含め、検討する」と答弁しました。

視察

**ICタグ活用の社会実験
新宿区でスタート**

観光情報・災害情報など携帯端末に情報配信



ICタグ(電子荷札)を活用して、観光情報や災害情報を配信するシステムの社会実験を昨年12月22日、私は新宿区議会の豊嶋正雄、小松政子、鈴木幸枝、赤羽艶子、有馬俊郎の各区議とともに視察いたしました。この実験は、新宿区が「YRPユビキタス・ネットワーク研究所」(所長=坂村健東京大学教授)などと協力して、12月19日から28日まで実施したもの。会場はJR新宿駅前の「新宿モア4番街」(新宿3丁目)。実用化されると、都民をはじめ、外国人や障害者、高齢者の皆様にも、様々な情報が提供できることから、多くの期待の声が寄せられています。

**子育て支援を社会全体で!
「両立支援」の施設を視察
少子化対策の課題探る**



少子化対策は今後の最重要課題であることから、私は昨年11月19日、都議会公明党の少子化対策プロジェクトチームの一人として、台場小学校(品川区)の「すまいるスクール」を視察。同スクールは学校施設を活用し、放課後や土曜日、夏休みなどに児童が過ごす環境を提供するなど、学年を超えた交流やボランティアとのかかわりの中で、児童が豊かな人間関係を育むことを目指しています。視察を終えた東野座長は、「都議会公明党は、子育て家庭へのあらゆる支援策を、全力で推進していきたい」と語っていました。

**「安心・安全の東京」へ全力
都議会公明党
地震対策を進める現場を視察**



都議会公明党の災害対策プロジェクトチームの一員として、私は昨年11月30日都内と神奈川県内で、地震対策関連技術の研究施設や市民主導で耐震化事業を進めている現場を視察し、先進技術の実用化や耐震改修の進め方などについて、関係者と意見を交わしました。平塚市の市民グループ「平塚耐震補強推進協議会」の副会長を務める福井義幸氏は「将来的には耐震化された地域を作り上げることで、減災効果を高めたい」と市民主導の取り組みが各地に広がるよう臨みたいと語っていました。

2006新年賀詞交歓会

～新都心新宿PR委員会～



新都心新宿PR委員会恒例の新年賀詞交歓会が、1月24日京王プラザホテルで開催され、新宿区長、議長をはじめ区内企業・団体の方々と共に出席。新年の挨拶をさせて頂きました。挨拶要旨は次の通りです。「昨年の都議選では大変お世話になりました。ありがとうございます。東京都は2016年の東京オリンピック開催に照準を定めて観光都市東京、千客万来の世界都市東京の新しい都市づくりを目指して取り組んでおります。その中心であり、表玄関は新宿です。新宿の魅力と活力を大いに発信していただきたい。心より期待しております。」このほか、区内各団体・町会・商店会等々の新年賀詞交歓会に積極的に出席させていただき、昨年の都議選の御礼をさせていただきました。

**TV
出演**

TOKYO MX 討論番組

「トウキョウもっと!元気計画研究所」に出演

テーマは「東京をより良くするために定年退職者の力を!」
2007年問題 「外国人に無料で日本語を教えよう!」

～放送の一部を紹介します～ 司会 いたう せいこう

いたう「日本を支えてきた、最も人口の多い団塊の世代が来年から一斉に定年を迎えます。吉倉さんは団塊の世代ですか?団塊の世代について何か感じていることがあれば、一言お願いします」
吉倉「私は昭和25年生まれです。団塊の世代のすぐ後の世代になります。ただ思いは団塊の世代と同じです。この世代は数が多いということ、そして絶えず鼻の差勝負のところ鍛えられたという気がしますね。だから、団塊の世代は競争の世代である。と同時に、挫折も味わっている世代だと思います。私は、競争と挫折という、両方の経験をしてきたこの世代には、その経験を生かす社会的な役割がいっぱいあると思っています。」

出演議員は、公明党 吉倉 正美
自民党 川井しげお
民主党 相川 博
共産党 古舘 和憲
出演ゲスト ダニエル・カール
三波豊和



放送日は、平成18年3月25日 20:00～21:00
平成18年3月30日 20:00～21:00(再放送)

皆様の声をお寄せ下さい!!

～全力で働きます～

東京都議会議員 吉倉 正美

最近、続発する子ども殺傷事件や耐震偽装問題は、社会の安心・安全を支えてきた大切なものが音を立てて崩れていることを示しています。また、世界一安全と言われた治安が崩壊する。教育力が低下する。企業の不祥事が相次いで起こる。まさに、戦後60年を経て、次々に顕在化する日本社会の制度疲労、これをどう立て直すかが、問われています。政治の最大の責務は、皆様に希望と安心をもたらすことだと思います。そのために私は皆様の声を直接いただき、都政に反映し、一つ一つ政策として実現させていきたいと決意しております。住宅、子育て、教育、就労、介護など、皆様がお困りのことがございましたら、何でもご相談下さい。皆様の声をお待ちしています。

連絡先 都議会公明党 TEL 03-5320-7250 FAX 03-5388-1787